



Title	レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流水分布 1997年1月~3月
Author(s)	石川, 正雄; 高塚, 徹; 池田, 光雄; 白澤, 邦男; 青田, 昌秋
Citation	低温科学. 物理篇. 資料集, 56, 35-52
Issue Date	1998-03-30
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/18814
Type	bulletin (article)
File Information	56_p35-52.pdf



[Instructions for use](#)

Masao ISHIKAWA, Tohru TAKATSUKA, Mitsuo IKEDA, Kunio SHIRASAWA and Masaaki AOTA 1997 Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido observed using a sea-ice radar network, January-March, 1997. *Low Temperature Science, Ser. A., 56. Data Report.*

レーダー観測による北海道オホーツク海岸沖の流水分布^{*,**}

—1997年1月～3月—

石川 正雄・高塚 徹・池田 光雄
白澤 邦男・青田 昌秋

(低温科学研究所)

(平成9年12月受理)

要旨：北海道大学流水観測用レーダー網による北海道オホーツク海岸沖の1997年1月23日から同年3月28日までの毎日午前9時における流水分布を示した。流水分布図の作成は、レーダー画像処理装置を利用して以下の手順にしたがって行われた。①枝幸、紋別、網走、3局の各レーダー映像を画像処理装置の・ブラウン管面上で重ね合わせ、3局合成レーダー画像を作る。②波浪や雲からくる妨害信号を人手によって除去する。③氷縁や氷湖などを線でなどり流水域を明確にする。④地図画像上に重ね合わせ、流水域に斜線を施して流水分布図を完成させる。氷野内には大小無数の氷湖が存在する場合もあるが、作図に当たっては、氷縁と比較的巨大的な氷湖に主眼をおいた。レーダー映像写真およびレーダー画像データは、流水期間中3時間毎に保存されている。詳細な流水分布の変化を追跡する場合には利用できる。なお、1969年から1988年までの資料集に基づいて、流水量変動に関する統計的整理が行われ、その結果は低温科学 物理篇 第47輯に「北海道沿岸の流水量の変動」と題して報告されている。

Abstract : Distributions of pack ice in the Okhotsk Sea off Hokkaido were observed using a sea-ice radar network and were drawn manually at 0900 JST from January 23 to March 28, 1997. In addition, time series pictures of Radar images were taken automatically every three hours through the sea-ice season.

キーワード：流水分布, オホーツク海, 北海道, 流水観測用レーダー網, レーダー映像写真
Key words : Pack Ice, Okhotsk Sea, Hokkaido, Sea-Ice Radar Network, Radar Image

* 北海道大学低温科学研究所業績 第3948号

** 北海道大学低温科学研究所 流水研究施設 研究報告 第150号

































